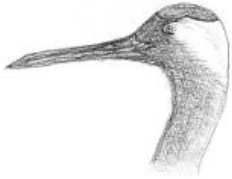


☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

原発ゼロの会が大学習・交流会

「自然エネルギーの推進に夢を感じる」

原発ゼロの会・大阪(原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会)主催の「大学習・交流集会」が、12月17日(土)午後、大阪市内で開催され148名が参加しました。

主催者あいさつで川辺大阪労働議長は、16日に野田首相が福島原発事故について「収束宣言」を発したが何の根拠もなく、問題のみみ消しを図る政治の流れがあると批判。「原発ゼロと自然エネルギーを求める大道の運動を飛躍させよう」と訴えました。

原発ゼロの会・大阪の呼びかけ人の一人で、日本環境学会会長、自然エネルギー市民の会代表の和田武氏(元立命館大学教授)が、多くの資料を使って「自然エネルギーの可能性と日本の普及推進」のテーマで講演。中村事務局長からは、会員が61団体・719名(12/17現在)、原発なくせポスターへの賛同者は同61団体・約700名になった。



2011年、近年にないほど様々な出来事があった年になりました。多くの場面で民意から離れた政権、東電に代表される大企業の利益優先・国民の安全は後回し、そして、情報操作がされていることなどがあぶり出され、「権威」に対する信頼はこれまでになく地に落ちました。最大の公害・環境破壊となった東電福島第1原発事故への政府や財界の対応、「収束宣言」と、震災復興、TPP、

消費増税、社会保障などへの対応が同一の根源を持っている様子が浮かび上がってきています。環境・公害の課題と大きな

持っています、現実の対応・選択は必ずしも一様ではありません。私達はこれまでめげず、必ず変えるという長期的展望のもとに運動を行なってきましたが、いまその広がりをもっと早めることに重大な関心を持ちながら展開していく時代に入っているのではないかと考えます。この1年、頭を使い、汗を流して、頑張っていきたいと思います。



大阪から公害をなくす会会長

金谷 邦夫

政治的課題にも向かい合わないといけないのが2012年の現実です。しかし国民の反応は、根本的などころでは怒りを

入っているのではないかと考えます。この1年、頭を使い、汗を流して、頑張っていきたいと思います。

参加者からは、「自然エネルギーの推進に夢を感じた。原発ゼロ」と同時に取り組んでいくことが本当に大切だと思いました(40代・男性)、「学習会としても良かったと思います。若い人の参加があったので、未来に希望が持てました(50代・女性)」などの感想が寄せられました。

と、署名運動や学習会など各地での運動展開と本年3月11日の大規模な府民集会の提案が行われました。続いて、各団体や地域からの取り組みが交流されました。報告は、2回の草の根からのデモ行進を実施した原発撤退を求め、淀川実行委員会、宮城県へ救援隊を3度派遣し、何度も学習会を開催している西成医療生活協同組合。原発視察と学習会を平和委員会と共同で取り組んでいる八尾の山本駅前九条の会。関西電力に粘り強く働きかけ、30人の母親と共に「懇談会」を開催した大阪母親連絡会。関西電力広報部とのやりとりで「安全を確保している」と主張する関西電力のひどい姿を、広く伝えていきたいと話す大阪革新懇。小型の放射能測定器を紹介した公害環境測定研究会、などなどでした。

(中森)